

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年七月度 入選句（投稿総数千五百四十二句・一般投句数五百三十四句）

特選

大泣きの赤子の素足じゃんけんぽん

兵庫県豊岡市

辻井 一路

赤ん坊が大泣きをすれば、ますます赤くなる。手足を大きく動かし、びつくりするような大声で泣く。赤子の足指の動きに焦点を絞り、じゃんけんぽんと表現した。
赤子の生命力が伝わってくる。

背泳ぎは地球に浮かぶ一人旅

大垣市

井沢 美志津

仰向けになり泳いでいる。海ではそんなに手足を動かさなくても浮かんでいることができる。視線は大空。そして、無重力状態。宇宙空間を漂っている気分になった。
一人旅に開放感がある。

胡瓜漬手の覚えたる塩加減

神奈川県相模原

守本 紅絹

手秤・塩梅という言葉が浮んでくる。胡瓜漬を作るとき、家族や自分の舌に合った塩加減にしたい。ベテランの主婦はいちいち塩の重さを量らなくても、手で掴めば分かる。
私も毎日胡瓜漬を食っている。

秀逸

太陽に向かい飛び立つ天道虫	大垣市	大杉 すみゑ
短夜の見たき夢まで奪い取り	大垣市	土屋 和馬
今もなほエースナンバー残暑光	大垣市	伊藤 英司
草引きて草の匂ひの爪を切る	大垣市	村田 通夫
一曲で緩むG線走り梅雨	本巢市	小泉 裕子
母に似て緩めがよろし衣更	大垣市	樋口 絹子
止め石をひとつ置きたる山開き	大垣市	佐藤 すみ子
緑陰の石ころ一つ鳥の墓	静岡県藤枝市	山本 紫苑
潮浴びの子の走りくる母の胸	三重県津市	村山 好昭
入相の鐘にも梅雨の湿りかな	岐阜市	辻 雅宏

入選

木漏れ日のをどる一ト日や梅雨晴間	福井県敦賀市	山田 美千代
溪流を飛ぶふたたびの登山道	東京都世田谷区	関戸 信治
タウンバス日傘たたんで客となる	不破郡垂井町	小坂 久美子
夏空を背負ひて走る人力車	岐阜市	田中 淳子
百選の水のなかななる新豆腐	大垣市	伊藤 英司
立ち話でで虫道を渡り終ふ	大垣市	傍島 豊子
家よりも涼しき居場所風の道	不破郡垂井町	宮代 一草
鈍行の停車のながき半夏生	大垣市	平野 きぬよ
白南風や五寸のシーサー門に立つ	大垣市	遠藤 加容子
夏料理色の魔術の盛られたる	岐阜市	花川 和久

入選

美濃 近江瀬 音涼しき 国境	大垣市	森川 きよ子
夕映えの柄杓にすくふ自噴水	大垣市	尾関 逸子
旧庁舎食む重機音梅雨入りぬ	大垣市	佐々木 貞子
杖つきて杖に躓く日の盛り	不破郡垂井町	富田 実郎
夏めくや手で髪ほぐす二度三度	大垣市	大原 和子
茅の輪ごしまあるくなりし朱の社	大垣市	早笈 千恵子
初ゆかたはじらう孫のげたの音	大垣市	米山 春江
蟬の声生徒のいない体育館	宮城県名取市	松本 裕子
振花や口の達者な三歳児	大垣市	村瀬 利明
燕の子口に余れる餌もらふ	大垣市	平野 ヒサエ

選者吟

大声のコーラスのごと百合開く

武直